

平成25年1月27日（日）
金沢大学タウン・ミーティングin 野々市
ともに創り ともに育む 住み続けたいまちづくり



住み続けたい環境づくり ～生涯にわたる健康を～



佐川 哲也

金沢大学 人間科学系 教授

健康で住み続けるための条件

市民にとって／市にとって

優れた「住みたいまち」プランがあるか

そして、そこには

「住み続ける市民」の姿が描かれているか

の の いち し
野々市市 2012»2021
第一次総合計画

ともに創つくるとともに育はぐくむ



特徴 その1

10年後の**将来都市像**が描かれている

まちづくりの理念が描かれている

ここでいいではなく**ここがいい**
住み心地一番のまち

市民には、**住み続けたい**
市外者には、**住んでみたい**

特徴 その2

市民協働のまちづくり 方針が明示されている

市民のまちづくり参加について

自分たちのまちは、自分たちでつくる

市民と公共サービスを担う団体

責任ある適切な役割分担

市民協働の役割分担

自助: 自分の責任で自分自身が行うこと。

共助: 自分だけでは解決したり、実施することか困難な事柄について、周囲や地域が協力して行うこと。

公助: 個人や周囲、地域あるいは民間の力だけでは解決できないことについて、行政が行うこと。



2 生涯健康 心のかよう福祉のまち

- ◇ **地域福祉社会の構造**
- ◇ **健康づくりの推進**
 - ◇ **こころとからだの健康づくり**
 - ◇ **良質な地域医療の提供**
- ◇ **高齢者と生涯のある方の福祉の推進**
- ◇ **子育て支援の推進**

5 みんながキャンパスライフを楽しむまち

- ◇ 知・徳・体のバランスが採れた教育の充実
- ◇ 家庭, 地域, 学校, の連携強化と開かれた学校づくり
- ◇ 生涯学習社会の充実
 - ◇ 社会教育の充実
 - ◇ 生涯スポーツの普及と振興
- ◇ 文化・スポーツ活動の充実
- ◇ 文化の継承と創造の担い手の育成

野々市市のスポーツ関係団体

愛好者の主体的な運営によって活動している
市体育施設や学校体育施設を利用している

市体育協会 28団体

市スポーツ少年団 16団体

市スポーツクラブ 37団体

市健康クラブ 2団体(中高齢者対象)

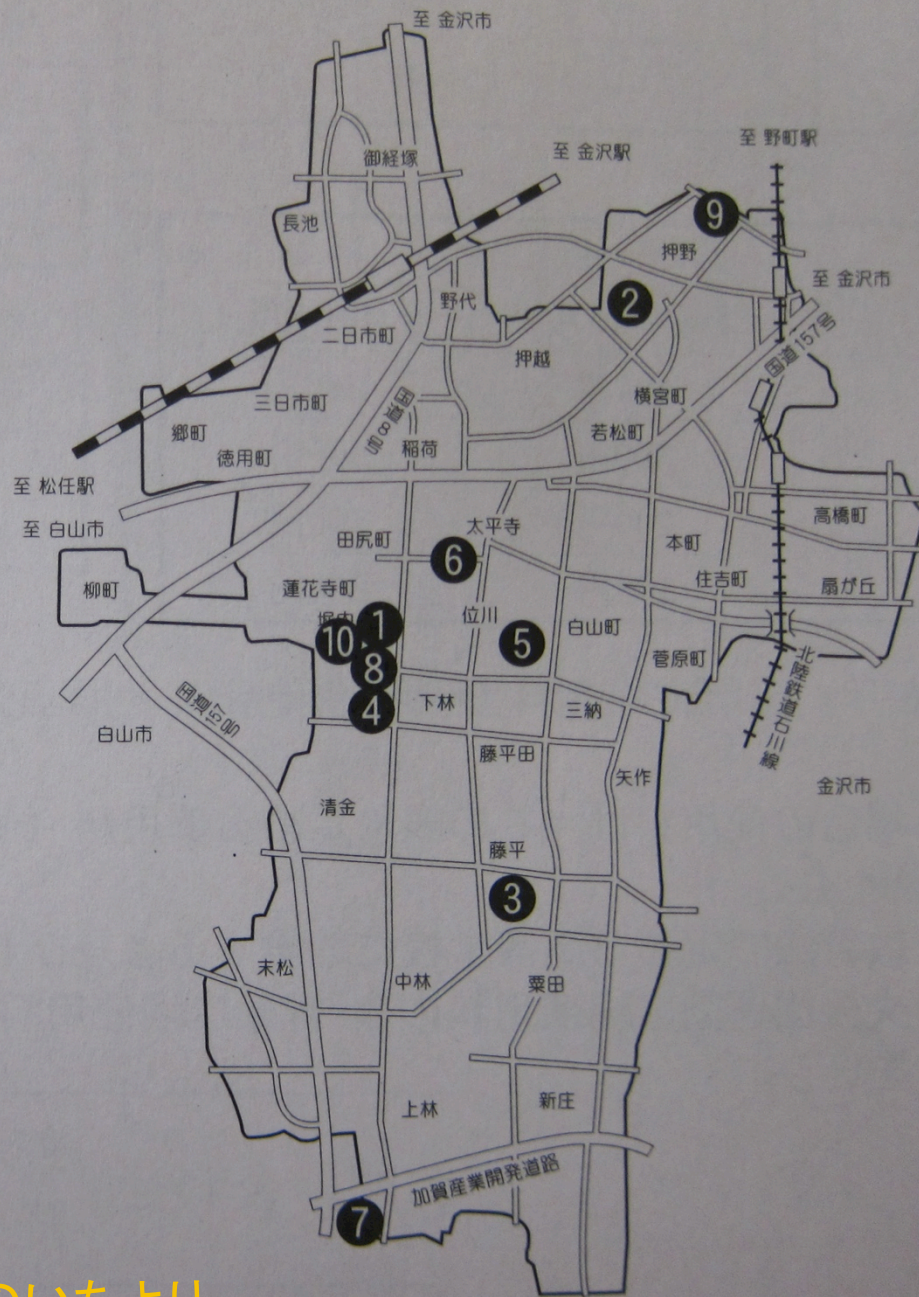
市ソフトボール連盟 8チーム

市壮年ソフトボールクラブ 8チーム

市早朝・日曜野球連盟 8チーム

◆スポーツ施設 場所一覧

- ① 市民体育館
- ② スポーツセンター
- ③ スポーツランド
- ④ 市民野球場
- ⑤ 武道館
- ⑥ 弓道場
- ⑦ 健康広場
- ⑧ 中央公園テニスコート
運動広場
- ⑨ 押野中央公園運動広場
- ⑩ 相撲場



平成24年度スポーツガイドののいちより

野々市市の運動スポーツ施設と活用実績



施設名	H20	H21	H22	1日平均
市民体育館	62,443	62,838	64,797	177.5
市民野球場	13,564	14,441	15,510	42.5
中央公園テニスコート	2,974	2,740	2,263	6.2
中央公園運動広場	12,407	14,222	13,657	37.4
相撲場	506	432	338	0.9
健康広場	4,982	6,080	5,455	14.9
簡易運動広場(弓道場)	17,434	16,007	17,047	46.7
武道館	16,680	18,804	19,090	52.3
押野中央公園運動広場	6,066	5,893	7,306	20.0
スポーツセンター	70,876	67,425	66,932	183.4
スポーツランドプール	45,465	43,313	50,522	138.4
スポーツランドさわやかプール	10,692	19,949	13,286	36.4
スポーツランドテニスコート	16,974	13,912	15,350	42.1
	281,063	286,056	291,553	798.8

学校開放施設

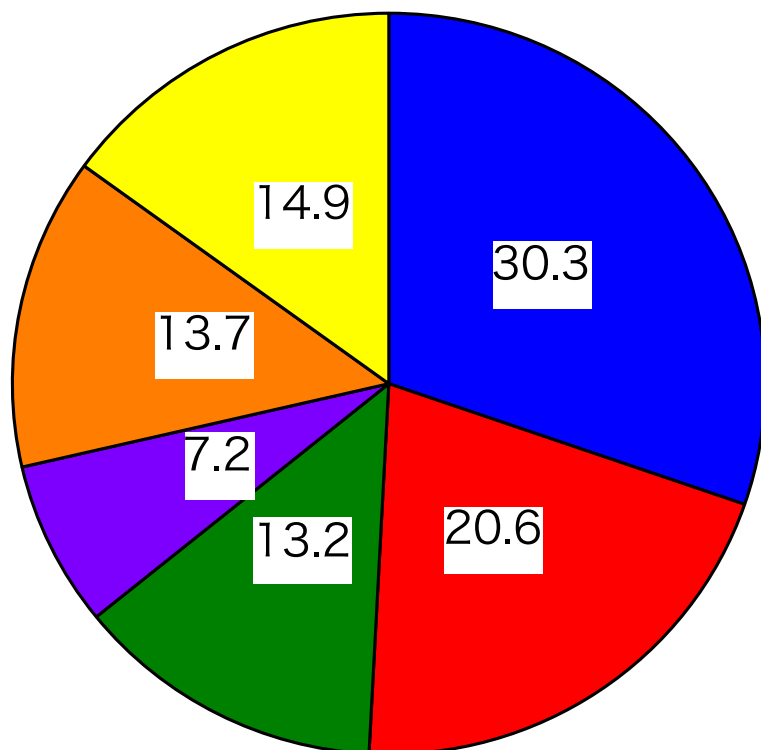
野々市小学校	運動場・体育館
御園小学校	運動場・体育館
菅原小学校	運動場・体育館
富陽小学校	運動場・体育館
館野小学校	運動場・体育館
野々市中学校	体育館
布水中学校	運動場

施設利用状況(H23)
39団体(延べ2,896団体)
延べ75,981人
=208.2人/日
=1.59 /人口(47,699)

公共スポーツ施設
5.61 /人口

人口と施設数だけで評価してはいけない
どんな人が, どんな目的で,
いつ, どのくらい, どのくらいお金をかけて
運動やスポーツに親しんでいるか

地域住民の運動・スポーツ実施レベル



- レベル0 (まったく運動しなかった)
- レベル1 a (週1回未満)
- レベル1 b (週1回以上週2階未満)
- レベル2 (週2回以上)
- レベル3 (週2回以上, 1回30分以上)
- レベル4 (週2回以上, 1回30分以上, ややきつい以上)

市民が愛好する運動種目の特徴

金沢市 (n=1069)				全国	
順位	実施種目	実施率 (%)	推計人口 (千人)	順位	実施率 (%)
1	散歩 (ぶらぶら歩き)	33.8	119.7	1	31.1
2	ウォーキング	21.9	77.5	2	16.7
3	体操	21.3	75.4	3	16.2
4	ボウリング	17.7	62.7	4	14.7
5	サイクリング、自転車	12.3	43.5	12	6.5
6	水泳	11.2	39.6	5	9.2
7	ゴルフ (練習場)	10.7	37.9	10	8.0
8	筋力トレーニング	10.1	35.8	7	8.5
9	ゴルフ (コース)	9.8	34.7	7	8.5
10	ジョギング、ランニング	9.1	32.2	17	4.8
	この1年運動・スポーツを行わなかった	27.2	96.3		

資料：SSF笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」(2002)

金沢市民のスポーツ意識に関する調査報告書(2002)

運動・スポーツ実施理由

順位	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1	健康のため (57.0)	健康のため (55.3)	健康のため (59.9)	健康のため (72.4)	健康のため (82.9)	健康のため (86.6)
2	気晴らしや 気分転換 (52.9)	運動不足解 消のため (55.3)	運動不足解 消のため (56.9)	運動不足解 消のため (61.2)	運動不足解 消のため (67.7)	運動不足解消 のため (71.4)
3	運動不足解 消のため (52.1)	気晴らしや 気分転換 (53.8)	気晴らしや 気分転換 (53.3)	体力の維持 増進のため (55.2)	体力の維持 増進のため (65.8)	老化防止のた め (68.8)
4	楽しい、お もしろい、 好きなため (48.8)	ストレス解 消のため (47.0)	体力の維持 増進のため (45.3)	気晴らしや 気分転換 (46.3)	気晴らしや 気分転換 (49.4)	体力の維持増 進のため (51.8)
5	体力の維持 増進のため (43.8)	体力の維持 増進のため (46.2)	ストレス解 消のため (38.7)	ストレス解 消のため (41.8)	老化防止の ため (47.5)	友人との交流 やコミュニ ケーション (32.1)

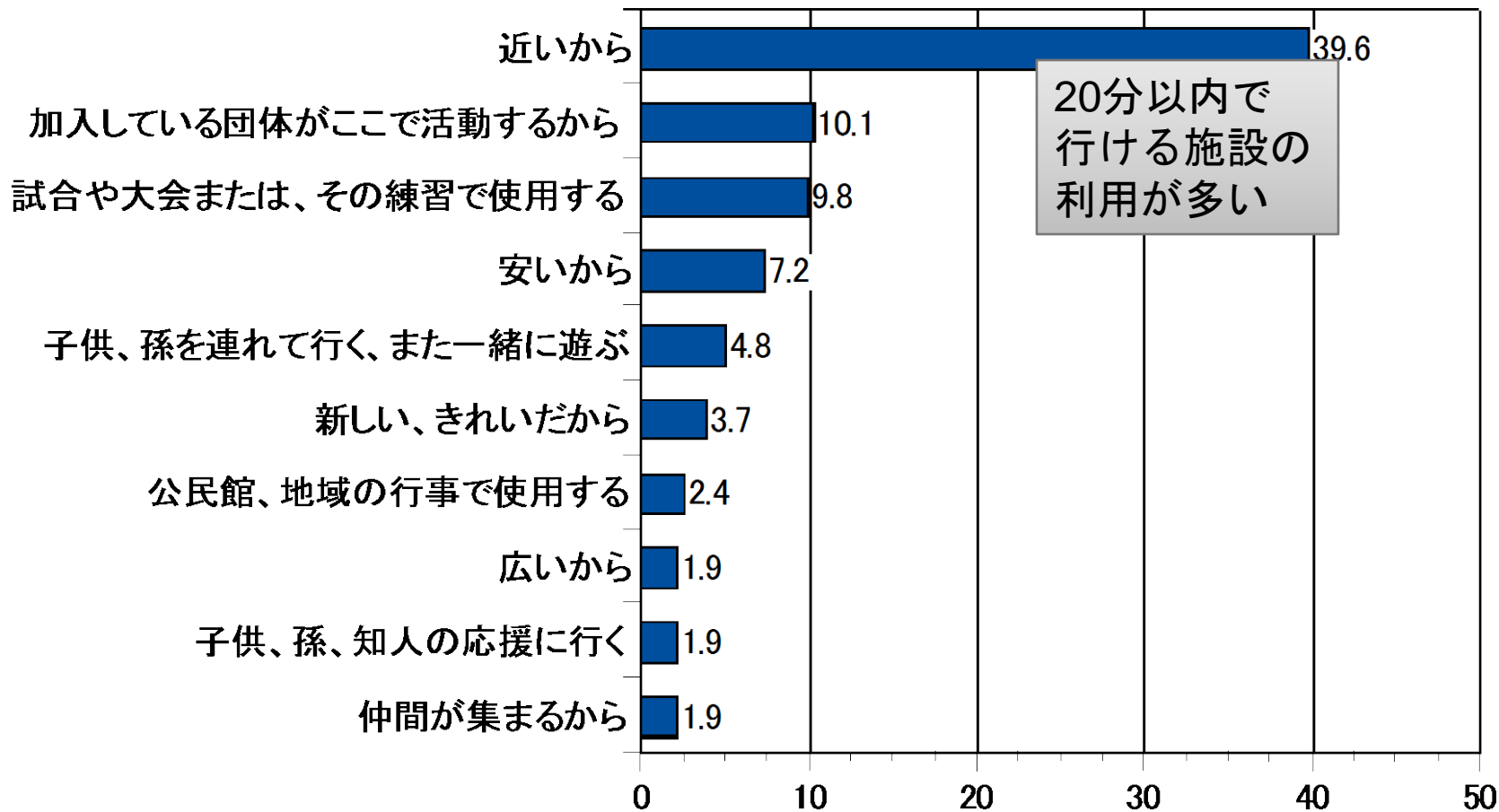
運動・スポーツ空間

金沢市			全国	
順位	施設の種類	割合(%)	順位	割合(%)
1	道路	50.4	1	56.9
2	体育館	28.1	3	23.4
3	自宅（庭・室内等）	24.0	2	24.2
4	ボウリング場	18.0	5	18.7
5	公園	16.1	4	21.5
6	屋内プール	14.1	9	12.7
7	ゴルフ場（コース）	13.5	13	7.7
8	海・海岸	13.4	7	14.0
9	トレーニングルーム	13.1	14	7.2
10	河川敷	12.6	11	9.1

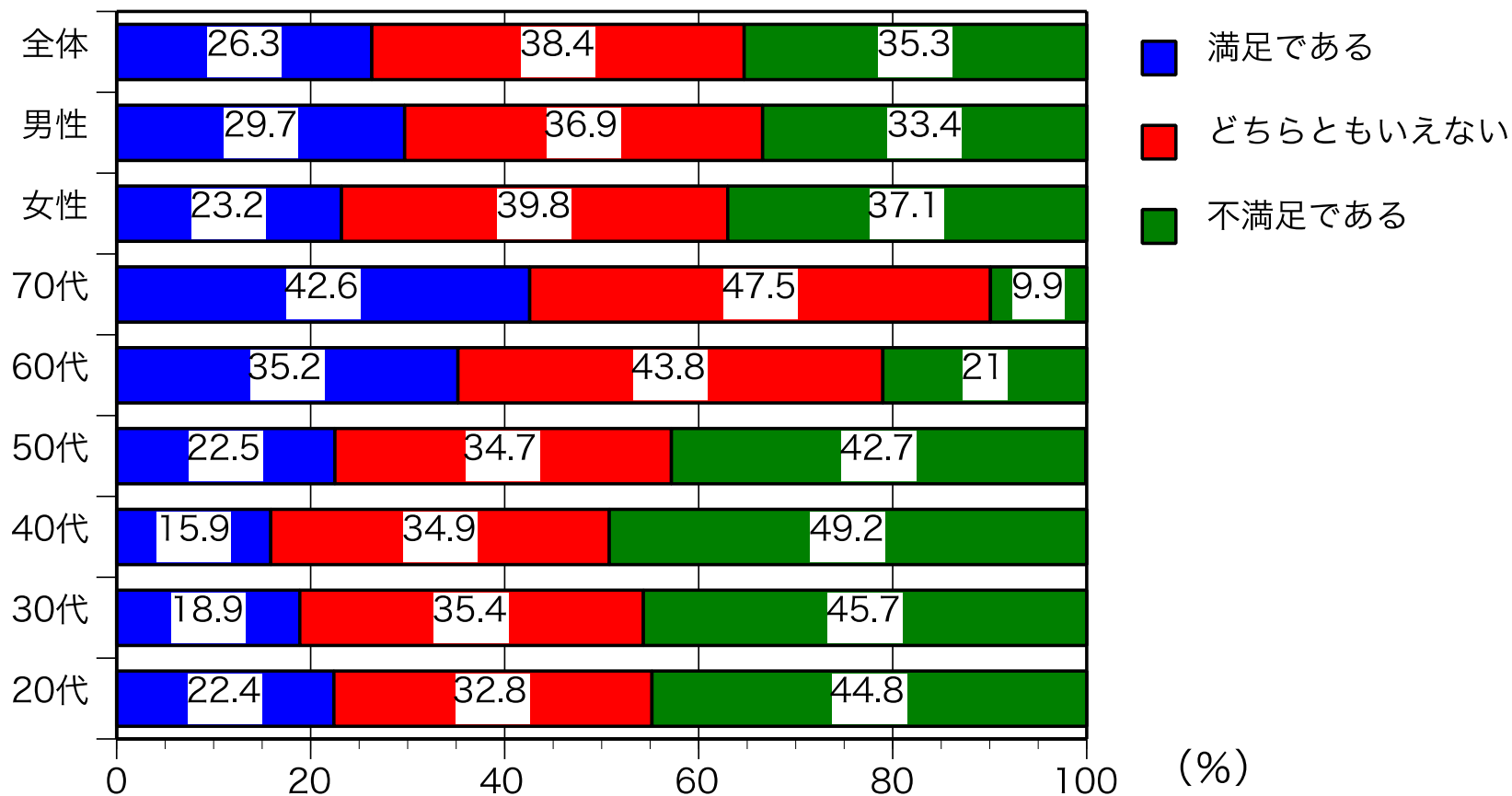
資料：金沢市民のスポーツ意識に関する調査報告書（2002）

SSF笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」（2002）

運動・スポーツ空間選択理由



スポーツ生活の満足度



市民の運動・スポーツの特徴

- ◆週 1 回以上実施レベルは、約50%
- ◆「散歩」「ウォーキング」「体操」
- ◆実施理由は、生理的欲求の充足
- ◆使用施設は、「道路」「体育館」「自宅」
- ◆「近いこと（20分以内）」
- ◆満足度は、40代頃が最低、その後は改善
- ◆市民は、運動への関心が高い
- ◆運動を中核としたスポーツ政策に期待

市民スポーツの動向を把握するデータが必要

スポーツ環境と公共サービス

- ❖ 野々市市はコンパクト・シティである。
 - ❖ 施設までの距離が近い
 - ❖ 周辺の市の施設も利用しやすい
- ❖ フィットネスクラブの活用
 - ❖ 民間でやれることは民間が分担している
 - ❖ スポーツ施設不足の解消にも貢献している
 - ❖ クラブには、用具とプログラム、運動処方、癒しなど、笑顔と快適がパッケージで用意されている
- ❖ フィットネスクラブに行かない人の支援が必要
- ❖ スポーツ施設は得意な人だけのものではない
 - ❖ 学校施設は地域住民にもっとも身近な施設

野々市の多彩な生涯学習環境

- コミュニティカレッジ, 「ののいちネット塾」, どこでも学べる環境確保
- 寿大学・大学院の教養講座・歴史講座・健康講座
- 子どもを対象とした自然体験・ものづくり体験
- 地区公民館や女性センターのサークル活動(100余の団体)
- 市民大学校講座はコミュニティ・カレッジ, 放送大学と連携
- 同事業は, 公募による企画委員が自主的運営
- 市民大学校受講者が自主グループ研究会活動を開始

市民主体の好循環を目指そう

住みよさランキング全国第2位

東洋経済新報社の2012版「住みよさランキング」から

公的統計を基に「都市力」を「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5観点に分類し、採用14観点について、各観点の標準偏差を単純平均して総合評価している。

野々市市は金沢市のベッドタウンとして都市化が進み、人口は引き続き増加傾向が続いている。市制施行前の10年国勢調査では人口51,885人と、全国の町村としては3番目に人口が多かった町である。平均年齢39.7歳と人口構成は若く、市内に石川県立大学、金沢工業大学があり、20歳代（特に男性）の比率が飛び抜けて高い。

住みよさランキング総合評価

	市名	総合評価	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準 充実度
1	印西(千葉)	60.49	683	3	9	60	86
2	野々市(石川)	58.10	5	1	13	255	752
3	坂井(福井)	57.99	75	79	201	379	13
4	本巣(岐阜)	57.60	228	5	459	261	56
5	守谷(茨城)	57.52	474	108	3	47	396
6	砺波(富山)	57.50	146	75	114	410	22

安心度：第5位， 利便度：第1位／788都市

- [安心度] ○病院・一般診療所病床数（人口当たり）／10年10月
 - ：厚生労働省「医療施設調査」 ○介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数（65歳以上人口当たり）／10年10月
 - ：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」 ○出生数（15～49歳女性人口当たり）／10年度
 - ：総務省「住民基本台帳人口要覧」
- [利便度] ○小売業年間商品販売額（人口当たり）／07年
 - ：経済産業省「商業統計」 ○大型小売店店舗面積（人口当たり）／11年4月
 - ：東洋経済「全国大型小売店総覧」

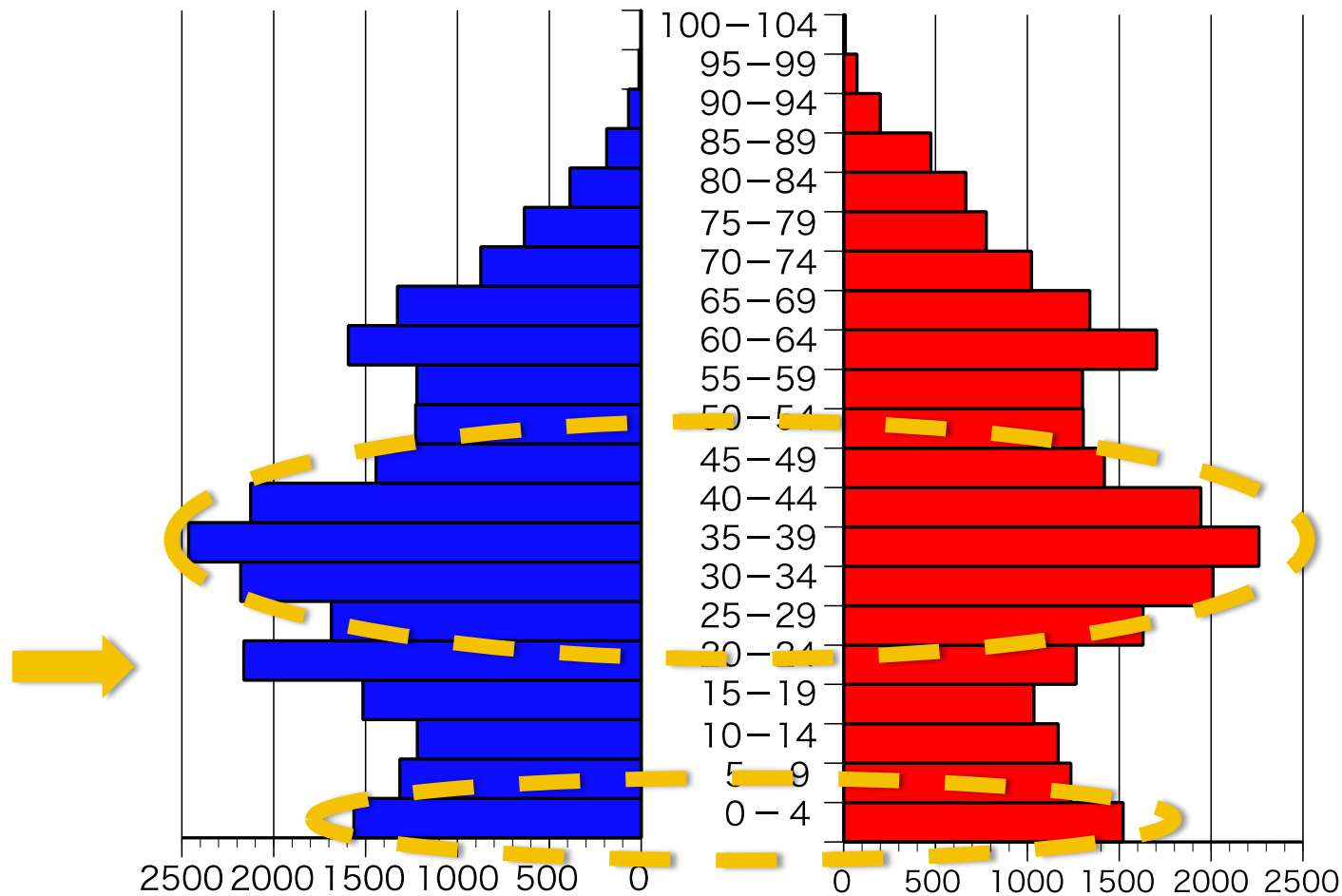
快適度：第13位， 住居水準充実度：第752位／788都市

- [快適度] ○公共下水道・合併浄化槽普及率／10年3月
：各都道府県資料、04年3月：環境省「污水处理人口普及状況」
- 都市公園面積（人口当たり）／10年3月
：国土交通省調べ ○転入・転出人口比率／08～10年度
：総務省「住民基本台帳人口要覧」 ○新設住宅着工戸数（世帯当たり）／08～10年度
：国土交通省「建築着工統計」
- [住居水準充実度] ○住宅延べ床面積（世帯当たり）／08年10月
：総務省「住宅・土地統計調査」 ○持ち家世帯比率／10年10月
：総務省「国勢調査」

野々市市人口ピラミッド (2012. 12)

■ 男子

■ 女子



野々市市ホームページデータより作成

各年代に必要な支援や課題

0～5歳(乳幼児期)

- 託児, 保育園・幼稚園, 小児医療,

6～18歳(学齢期)

- 家庭教育支援, (ノーテレビ, ノーゲームデー)
- 運動・スポーツ, 学習環境, など

25～40代(子育て世代)

- 安心して子育てできる環境, など

60代以降(高齢世代)

- 生きがい(居場所と出番), 医療, 介護, など

乳幼児期の支援(一部)

- 保育園13園，：建設中あり
- 幼稚園2園，収容率（H24）：67.7%，
- 病児保育利用者：170人（H23）
- 病後児保育利用者：437人（3施設，H23）
- 体調不良次対応型：99人（H23）
 - 子育て支援センター（7センター，H23）
 - 利用者人数：34,422人
 - 一時預かり：2,379人
- 各種子育て関連相談サービスあり

医療機関の充実度

総合病院：松任中央病院(のんキー接続), 20分以内
日赤金沢病院, 20分以内

病院・医院: 47院

- 内科: 32院
- 小児科: 5院
- 産婦人科: 3院

歯科: 22院

- 小児歯科: 10院

子育て安心ブック

ののいち

楽しい子育てははじめよう!!



野々市市

「野々市なら安心」
が分かる
優れた情報源

「住み続けたいまち」をつくるために

野々市の健康・生活・学習環境を担うのは誰か

- 行政がもっと頑張るのか，住民が活躍するのか
- 市民協働に参画する市民の育成が重要

統計資料に表れない環境整備がポイント

- 野々市に暮らす市民の姿が見えているか
- 市民生活を動的（時間や空間，お金）に考えよう

市民の暮らしに役立つ情報発受信を再点検

- 市民と市の情報キャッチボールができているか
- 市民に届く，市民が行動できる情報であるか

人こそが野々市市の財産である

具体例を確認し合うことが期待される